

神奈川県微生物検査情報

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/eiseisomu/eiken/infectionC.htm>

神奈川県衛生研究所

第111号

(2002年6月)

平成14年9月30日発行

細菌関連情報

腸管出血性大腸菌が5名（鎌倉保健所管内3名（患者1名、保菌者2名：O157 Stx2）および小田原保健所管内2名（患者、保菌者各1名：O157 Stx1,2））から分離された。鎌倉保健所管内の事例は、鎌倉市内の飲食店において7名で飲食したグループのうち、他機関での分離を含め計6名より同菌が分離されたことから、同一感染源による集団感染が疑われた。しかし、同グループ以外に有症者、苦情等はなく、原因の特定はできなかった。小田原保健所管内での分離株は患者およびその接触者からの分離株であった。

同時期（6月末～7月初旬）、腸管出血性大腸菌 O157 Stx2は県内の医療機関からの報告を含め計9件の分離があった。これら9菌株を衛生研究所で DNA 解析を行った結果、DNA パターンはほぼ一致することが確認され共通の感染源が疑われたが、その特定はできなかった。

茅ヶ崎保健所管内でウエルシュ菌（*C. perfringens*）による食中毒が発生した。患者を含む喫食者（便）7件、従業員（便）14件、食品5件および環境5件から、喫食者5名および従業員1名からウエルシュ菌（計6株）が分離された。喫食者由来5株は Hobbs 13型、エンテロトキシン産生株であったが、従業員由来1株は血清型別不能株であった。

群馬県で発生した食中毒に関連する患者2名（茅ヶ崎および平塚保健所管内）の調査では、サルモネラ（血清型 Enteritidis）が分離された。

大和保健所管内で黄色ブドウ球菌（*S. aureus*）による食中毒が発生した。患者（便）15件、患者（吐物）4件、食品（残品）14件、食品（参考品）6件および環境10件から、患者便6件、吐物1件および残品13件よりコアグラゼ型、エンテロトキシンA産生の黄色ブドウ球菌が分離された。

感染症発生動向調査では、感染性胃腸炎患者よりサルモネラ O16群（血清型 Hvitvingfoss）1件が分離された。

A群レンサ球菌咽頭炎患者よりA群溶レン菌2株が分離された。血清型は T1型（1株）、および T4型（1株）であった。

淋菌感染症患者より分離された淋菌（*N. gonorrhoeae*）は9株あり、それらの株はペニシリナーゼ非産生であった。

食品検出情報

大和保健所で分離された黄色ブドウ球菌（*S. aureus*）は、前述した食中毒事例の食品検査からの分離である。

衛生研究所で行った魚介類等汚染実態調査（9検体）より腸炎ビブリオ（*V. parahaemolyticus*）が6件分離されたが、耐熱性溶血毒（TDH）遺伝子および耐熱性溶血毒類似毒素（TRH）遺伝子は保持していなかった。

環境検出情報

小田原保健所でプール水2件からレジオネラ (*L. pneumophila*) が分離された。血清型は2群および5群、5群および6群の同時検出各1件であった。

河川水腸管系病原菌調査では、O1 & O139以外のコレラ菌 (*V. cholerae* non-O1&O139) 4件、サルモネラ O4群 (亜種) 1件、サルモネラ O18群 (亜種 a) 1件が分離された。

(細菌病理部)

ウイルス関連情報

手足口病は、5月中旬(第20週)より患者報告数が増加し始め、例年よりやや早く流行期に入り、また、昨年よりも大きな流行となっている。検査定点より依頼のあった手足口病患者の咽頭拭い液23検体について検査を実施したところ、コクサッキーウイルスA (C A) 16型12株、C A 6型2株およびエンテロウイルス71型1株が分離された。

ヘルパンギーナは、6月に入り患者報告数が増加し始めたが、昨年よりも流行は小規模にとどまっている。検査定点より依頼のあったヘルパンギーナ患者の咽頭拭い液2検体について検査を実施したところ、コクサッキーウイルスA (C A) 4型2株と、重複感染としてアデノウイルス1型1株が分離された。

検査定点より依頼のあった無菌性髄膜炎患者3件について検査を実施したところ、エコーウイルス30型1株が分離された。また、検査定点外の医療機関から依頼のあった無菌性髄膜炎患者検体からエコーウイルス13型1株が分離された。今年度の無菌性髄膜炎流行は、1998(平成10)年のエコーウイルス30型による流行に次ぐ規模の流行が懸念されている。全国的にはエコーウイルス13型の分離報告が多く、当衛生研究所でも検査定点外の医療機関からエコーウイルス13型が分離されており、今後このウイルスの動向に注意する必要がある。

その他、肺炎患者検体からアデノウイルス3型1株が分離された。

(ウイルス部)

表1 菌種・菌型別病原菌検出状況（ヒト由来）

（平成14年6月）

菌種・群・型	ヒト由来検出数											
	2月		3月		4月		5月		6月		平成14年累計	
	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者
EHEC/VTEC							11		5		16	
EPEC	3		2		2		2				11	
<i>Salmonella</i> 08群											1	
<i>Salmonella</i> 09群									2		2	
<i>Salmonella</i> 09,46群	1										1	
<i>Campylobacter jejuni</i>	1										2	
<i>Staphylococcus aureus</i>	4								7		12	
<i>Clostridium perfringens</i>									6		6	
<i>Streptococcus pyogenes</i> A群	1		3		1		1	1	2		12	1
<i>Neisseria meningitidis</i>					1						1	
<i>Neisseria gonorrhoeae</i>	3		4		2		2		9		29	
合計	13		9		6		16	1	31		93	1

表2 保健所・衛生研究所別病原菌検出状況及（ヒト由来）

（平成14年6月）

菌種・群・型	ヒト由来検出数													計
	平塚	鎌倉	藤沢	小田原	茅ヶ崎	三崎	秦野	厚木	大和	足柄上	津久井	小計	衛生研究所	
EHEC/VTEC		3		2								5		5
<i>Salmonella</i> 09群	1				1							2		2
<i>Staphylococcus aureus</i>									7			7		7
<i>Clostridium perfringens</i>					6							6		6
<i>Streptococcus pyogenes</i> A群													2	2
<i>Neisseria gonorrhoeae</i>													9	9
合計	1	3		2	7				7			20	11	31

表3 保健所・衛生研究所別病原菌検出状況（食品由来）

（平成14年6月）

菌種・群・型	食品由来検出数													計
	平塚	鎌倉	藤沢	小田原	茅ヶ崎	三崎	秦野	厚木	大和	足柄上	津久井	小計	衛生研究所	
<i>Vibrio parahaemolyticus</i>													6	6
<i>Staphylococcus aureus</i>									13				13	13
合計									13				13	19

表4 保健所・衛生研究所別病原菌検出状況（環境由来）

（平成14年6月）

菌種・群・型	環境由来検出数													計
	平塚	鎌倉	藤沢	小田原	茅ヶ崎	三崎	秦野	厚木	大和	足柄上	津久井	小計	衛生研究所	
<i>Salmonella</i> 04群													1	1
<i>Salmonella</i> 018群													1	1
<i>Vibrio cholerae</i> non-01 & 0139													4	4
<i>Legionella pneumophila</i> 2群				2 ¹⁾²⁾								2		2
<i>Legionella pneumophila</i> 5群				1 ¹⁾								1		1
<i>Legionella pneumophila</i> 6群				1 ²⁾								1		1
合計				4								4	6	10

1),2)：同時検出

表5 保健所・衛生研究所別検査数

（平成14年6月）

検査材料 検査所	ヒト		食品	環境	計
	総数	内海外 渡航者			
平塚	778		5		783
鎌倉	797			21	818
藤沢	747		31	1	779
小田原	2,690		29	11	2,730
茅ヶ崎	258		19	7	284
三崎	124		9		133
秦野	345		6		351
厚木	329		14	2	345
大和	219		24	10	253
足柄上	276		13		289
津久井	232				232
小計	6,795		150	52	6,997
衛生研究所	11		9	10	30
計	6,806		159	62	7,027

表6 ウイルス検出状況（月別）

（平成14年7月31日現在検出分）

検出ウイルス	平成14年						平成14年計
	2月	3月	4月	5月	6月		
インフルエンザ AH1	28	3					45
インフルエンザ AH3	47	7					82
インフルエンザ B	3	4					7
ポリオ 3			1				1
コクサッキー A4					2		2
コクサッキー A6					2		2
コクサッキー A16		1		1	12		18
エコー 13					1		1
エコー 30					1		1
エンテロ 71			1	1	1		3
ムンプス	1						1
アデノ 1					1		1
アデノ 3	1				1		3
アデノ 6	1						1
単純ヘルペス 1			1				2
口 夕					1		1
小型球形	3		4				7
ノーウォーク	28		24				55
未同定	1						2
合計	113	15	31	3	21		235

表7 ウイルス検出状況（疾患別）

（平成14年7月31日現在検出分）

疾患名	検出ウイルス													合計
	麻疹様疾患	流行性耳下腺炎	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	インフルエンザ様	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	急性出血性結膜炎	無菌性髄膜炎	急性脳炎	食中毒	その他	
コクサッキー A4					2									2
コクサッキー A6				2										2
コクサッキー A16				12										12
エコー 13									1					1
エコー 30									1					1
エンテロ 71				1										1
アデノ 1					1									1
アデノ 3													1	1
未同定														
合計				15	3				2				1	21